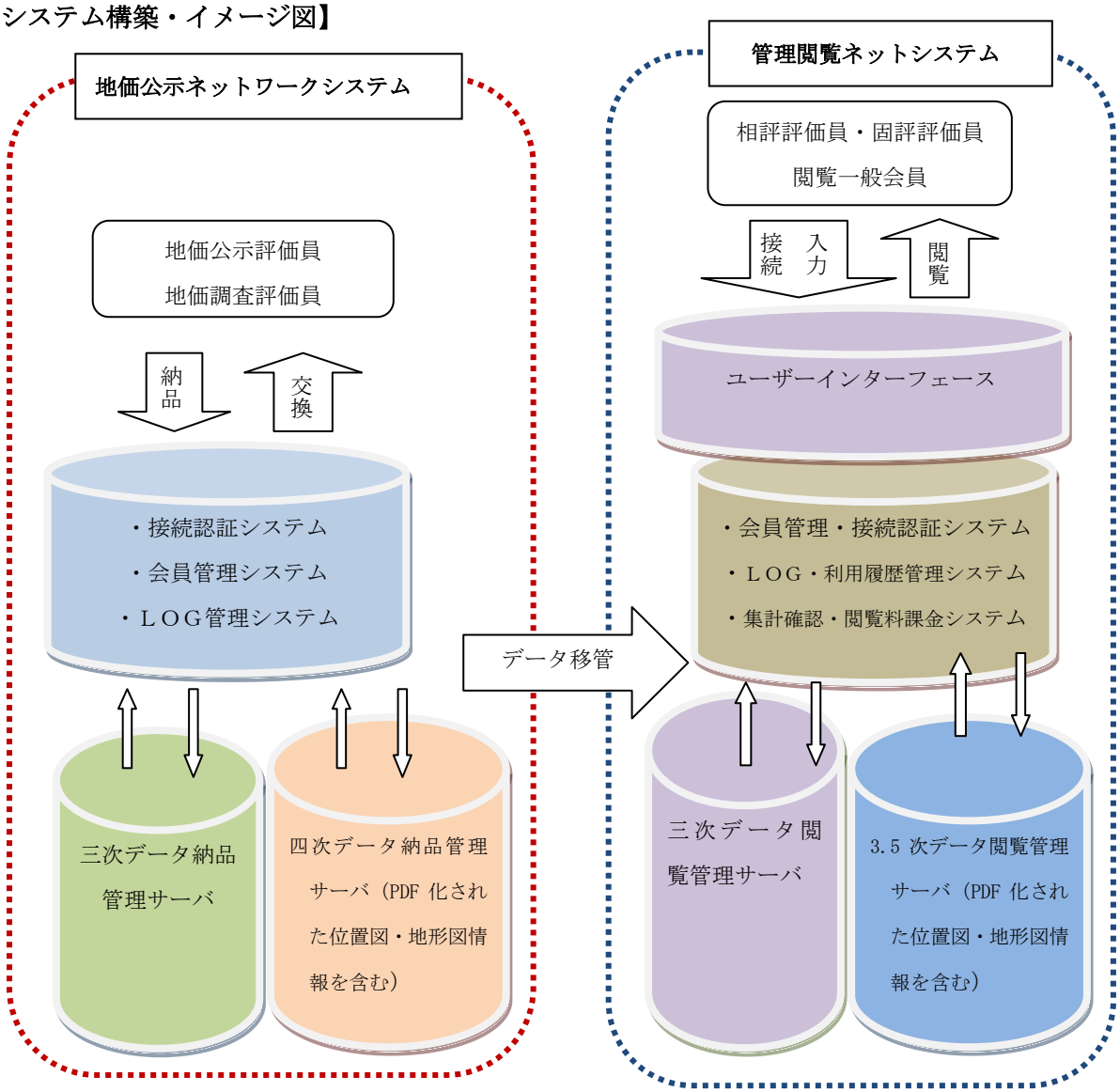
Wednesday, December 14, 2011
鄙からの発信

【システム構築・イメージ図】



1．3.5 次データとは、４次データの最終完成をまたずにデータ送信を行うことによる、データの欠落や差異を容認した４次データのことであり、鑑定士が活用する場合には自己責任における利用が当然要件である。

2．位置図、地形図 PDF データとは地価公示納品成果物として作成される事例カード二枚目の PDF 化等イメージデータのことを指す。

2．閲覧に際しての接続入力は、利用目的（一般鑑定、価格調査、固定資産税評価、相続税評価等）、閲覧対象市区町村コードその他の Log 管理事項を求める。

3．地価公示評価員並びに地価調査評価員は、LOG 管理の厳格化を図る意味から、所属分科会内交換といえどもシステム交換以外の、評価員相互のデータ交換は認めない。